

ご案内

NTT コミュニケーション科学基礎研究所は、このたび「オープンハウス 2012」を開催いたします。

本イベントでは、研究所の活動を深くご理解いただきたく、研究成果のご紹介（研究展示と講演）、コミュニケーション科学技術の未来に関する意見交換の場をご用意しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

所長挨拶

近年、ソーシャルメディアの普及、スマートフォンの高機能化が進み、これまでに増して情報爆発が加速しています。まさしく、「ビッグデータ」時代の到来と言えるでしょう。一方、情報の価値は個人や状況に応じて異なります。真に豊かなコミュニケーション環境の実現には、情報処理技術だけでなく、情報と人間、さらには情報と社会の関わり方にも目を向ける必要があると考えます。

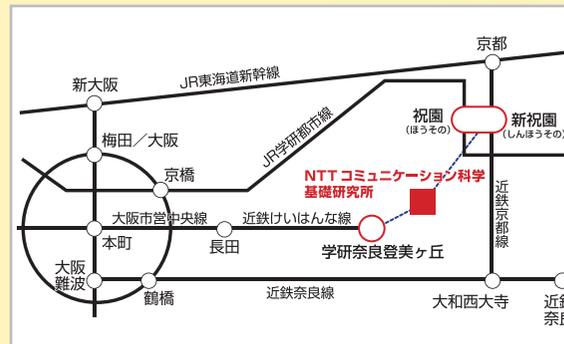
NTT コミュニケーション科学基礎研究所では、人間と情報の深い理解に基づくコミュニケーションの実現をミッションとして、人間科学と情報科学の両面で情報通信の基礎研究を推進しております。このたびのオープンハウスでは、当研究所の最近の研究成果を、研究展示及び講演により、幅広くご紹介いたします。

多くの皆様のご来場を、所員一同心よりお待ちしております。

NTT コミュニケーション科学基礎研究所
所長 上田 修功

会場

NTT京阪奈ビル 京都府相楽郡精華町光台2-4(けいはんな学研都市)



- 近鉄京都線 新祝園(しんほうその) 駅、またはJR学研都市線 祝園(ほうその) 駅西口より路線バス(約15分)、タクシー(約10分)
※臨時バス(1時間4本程度)も運行予定です。
- 近鉄けいはんな線 学研奈良登美ヶ丘駅より路線バス(約15分)、タクシー(約10分)
- 詳しくは、<http://www.kecl.ntt.co.jp/rps/access-keihanna.html> をご覧ください。

オープンハウス情報公開webページのご案内
<http://www.kecl.ntt.co.jp/openhouse/2012/>
にて随時最新情報を公開いたしますので、是非ご覧ください。

お問い合わせ

日本電信電話株式会社
NTT コミュニケーション科学基礎研究所
TEL:(0774)93-5020 E-mail:cs-openhouse@lab.ntt.co.jp

NTT コミュニケーション科学基礎研究所

オープンハウス 2012

6/7 木 12:00~17:30

6/8 金 9:30~16:00

入場無料・事前登録不要

会場:NTT京阪奈ビル
(京都府相楽郡精華町光台2-4)

講演スケジュール

所長講演

(13:00~13:30)

・Big data時代のコミュニケーション科学

NTT コミュニケーション科学基礎研究所 所長 上田 修功

招待講演

(14:00~14:50)

・繋がり／社会／政治―若者のコミュニケーション態勢と社会性

東京大学情報学環 准教授 北田 暁大

研究講演

(16:00~16:30)

・心地よさと「やみつき」の神経科学

―動物の行動に情動の生物学的基盤を探る―

人間情報研究部 廣中 直行

研究講演

(11:00~11:30)

・デジタルコンテンツ保存における標準化とその課題

―ISO/IECおよびその他の機関における標準化の取り組み―

守谷特別研究室 原田 登

(14:00~14:30)

・光から乱数をつくる

―半導体レーザーカオスを利用した高速乱数生成―

メディア情報研究部 吉村 和之

(14:30~15:00)

・センサネットワークを通して見えてくる世界

―多数かつ多様なセンサから情報を収集・解釈・提示する技術―

協創情報研究部 須山 敬之

懇親の場

7日(17:30~19:00)に、来場者の皆様と所員の懇親の場を設けさせていただきます。意見交換の場としてご利用ください。

研究展示 (研究成果・研究内容のご紹介)

(展示時間) 7日 12:00~17:30 / 8日 9:30~16:00

インフォメーションサイエンス

・測れない光で秘密ができる

―レーザーの相関ランダム現象を利用した秘密鍵配送―

・コンピュータが安全性を保障！ 究極の暗号

―フォーマルメソッドによる量子暗号の安全性証明―

・法律はあなたのプライバシーを守ってくれるか？

―プライバシーの数理的定式化と法律への適用―

・類題から賢く学べます

―頑健な半教師あり学習法と自然言語処理への応用―

・データのキモ、見つけます

―特徴的な構造を抽出するデータマイニング技術―

・よく似たデータを瞬時に発見

―近傍グラフを用いた高速類似探索―

・生放送でも即座に特定

―追加型特徴DBによるリアルタイムメディア探索技術―

・ノイズーな世界を見守る

―センシングと符号化の協同現象と大偏差原理―

・複数のカメラで物の色と形を正確に記録・再現

―2眼ステレオ式6バンド映像システムによるリアルタイム色再現―

インタフェースサイエンス

・多数のセンサがあなたにあわせて情報を集めます

―センサネットワークの動的な動作変更技術―

・翻訳は語順が大切

―日本語風の英語を介した英日・日英統計翻訳―

・動くディスプレイで会話が伝わる

―頭部運動の動的補強表現に基づく会話場再構成―

・昔の自分達に助けて貰おう！

―時空間同室感(t-Room)における蓄積情景処理とその応用―

・あなたの歌い方を診断します！

―歌声音高軌跡の確率モデルに基づく歌唱スタイルの特徴抽出―

・いつ誰が何を話したか？

―複数人会話シーン分析技術の進展と利用イメージ―

・雑多な音の中からあなたの声だけ聞きとります

―時間・空間・周波数情報を統合した高精度音声強調技術―

・会話中のあなたの話、何でも聞いて理解します

―話し言葉音声認識のための高度な学習、適応、正規化技術―

・音を付けると違って見える

―視聴覚統合に基づく視覚時空間の変容―

・見るより前に手が動く

―潜在的な目と手の協調メカニズム―

・質感を見る脳のしくみに迫る

―画像から質感を取り出す視覚のメカニズム―

ライフサイエンス

・こどもが急にことばを覚えだすのはなぜ？

―個人の時系列データ解析から解明された語彙爆発の謎―

・この月齢の子にぴったりの「言葉たち」を探して

―幼児語彙発達データに基づく成長に応じた言語資源の提示―

・しゃべると空耳！？

―発音動作と音声知覚の密接なつながり―

・人のふり見て我がふり直せるネズミたち

―適応的社会行動を支える神経基盤を探る―

・聞きたい音を聞く脳のメカニズムを探る

―心理物理、計算モデル、脳機能計測によるアプローチ―

・「触れる感覚の物差し」としての言葉

―触覚の質感とその音声表象―